

住吉区
町会加入促進アクションプラン
(R6～R8)

令和6年7月
大阪市住吉区役所

第1 アクションプランの目的と背景

1 アクションプラン策定の背景

- ・大阪市では、もっとも身近な地域コミュニティである町会への加入世帯数は減少し続け、加入率の低下に歯止めがかかっているとは言い難い状況が続いており、地域コミュニティの維持・活性化を目的として、令和6年3月に「大阪市町会加入促進戦略」（以下「戦略」という。）を策定しました。
- ・一方で、区や地域ごとにその特性が異なることから、それぞれに効果的な加入促進策については、地域特性に沿った手法が求められます。
- ・住吉区では、区や地域の現状を把握したうえで、優先順位を決めて効果的な施策に取り組むため、「住吉区 町会加入促進アクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）を策定し、町会等の取組支援を行い、町会等と協働で加入率向上に取り組んでまいります。
- ・ただし、戦略に改訂があった場合や本市及び当区の地域コミュニティを取り巻く状況の著しい変化が生じた場合は、必要に応じて、適宜見直しを行うこととします。

2 アクションプラン期間と目標

(1) 期間

令和6年度から令和8年度までの3年間とします。

(2) 目標

令和8年度末に町会加入率（※）を令和5年度より向上することを目標とします。

また、人口動態や町会加入者数を加味した総合判断も参考指標として評価を行います。

※町会加入率：大阪市地域振興会を通じた組織現況調査による加入世帯数（区で把握した地域振興会以外の町会の加入世帯数を加算して）を、国勢調査の世帯数で除して算出

第2 住吉区の町会加入率の状況

1 区の状況

- ・令和5年調査において、町会加入世帯数は39,216世帯、町会加入率は50.2%となっており、大阪市平均46.4%と比較して高い水準にあります。
- ・また、平成31年調査から令和5年調査では、町会世帯数・町会加入率は低下傾向が続いており、平成31年と令和5年を比較して、加入世帯数では町会加入世帯数は2,442世帯、町会加入率は7.9%減少しています。

	加入世帯数	世帯数 (国勢調査年)	町会加入率	(参考)市平均 町会加入率
平成31年調査	41,658	71,718 (平成27年)	58.1%	55.1%
令和2年調査	41,241	71,718 (平成27年)	57.5%	54.3%
令和3年調査	40,380	78,098 (令和2年)	51.7%	48.5%
令和5年調査	39,216	78,098 (令和2年)	50.2%	46.4%

第2 住吉区の町会加入率の状況①

2 各地域の町会加入率の状況

町会加入に影響する世帯の特徴として、持ち家世帯が多いと加入する割合が高くなる傾向にあり、一人世帯と集合住宅に住む世帯が多いと加入する割合が低くなる傾向にあります。

	加入世帯数	世帯数	加入率(R5.4.1時点) 【 】内は区内での順位	地域の特徴 「持家」…持ち家世帯の割合 「一人世帯」…一人世帯の割合 「集合住宅」…集合住宅に住む世帯の割合、【 】内は割合の高い区内での 順位で、高い【1～3位】と低い順位【9～12位】を記載した
墨江	4036	5760	70.1%【3位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家55%【3位】、一人世帯46%、集合住宅53% 住吉大社に隣接し、旧街道が通る歴史ある街並みが多い。
清水丘	2620	4060	64.5%【5位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家61%【2位】、一人世帯43%【10位】、集合住宅45% 一町会あたりの世帯数が少ない。
遠里小野	2397	3064	78.2%【1位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家47%、一人世帯53%【3位】、集合住宅52% 南海我孫子前駅西側は、歴史的から古くに形成された集落を中心に住宅が多く密集している。
東粉浜	1603	2162	74.1%【2位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家68%【1位】、一人世帯39%【12位】、集合住宅48% 住吉大社などの伝統行事を通じて青壮年団等の活動が活発。
住吉	7632	11283	67.6%【4位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家51%、一人世帯45%、集合住宅56% 3つの小学校区にまたがり、世帯数は区内で2番目に多く町会数も区内で最も多い。
長居	3821	13087	29.2%【12位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家30%、一人世帯58%【2位】、集合住宅79%【3位】 世帯数は区内で最も多いが、町会数は少なく、平均すると一つの町会あたりの世帯数が区内で最も多い。 長居公園に隣接し、Osaka Metro長居駅、JR長居駅が地域内にあるなど、利便性の高さから賃貸住宅が多い。

第2 住吉区の町会加入率の状況①

2 各地域の町会加入率の状況

世帯数及び地域の特徴のデータはR2国勢調査による

	加入世帯数	世帯数	加入率(R5.4.1時点) 【 】内は区内での順位	地域の特徴 「持家」…持ち家世帯の割合 「一人世帯」…一人世帯の割合 「集合住宅」…集合住宅に住む世帯の割合、【 】内は割合の高い区内での 順位で、高い【1~3位】と低い順位【9~12位】を記載した
依羅	3196	8205	39.0%【9位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家23%【12位】、一人世帯59%【1位】、集合住宅79%【3位】 Osaka Metro御堂筋線とJR阪和線に挟まれ、古くに形成された集落と集合住宅が併存している。
南住吉	4900	8270	59.3%【6位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家42%、一人世帯42%【11位】、集合住宅72% 区画整理された街区が多く、大規模なマンションが多い。
山之内	3480	6404	54.3%【7位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家32%、一人世帯52%、集合住宅68% JR阪和線沿いの南北に細長く位置し、区画整理された街区が多い。
苅田	2293	7481	30.7%【11位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家26%【10位】、一人世帯53%【3位】、集合住宅83%【2位】 Osaka Metroあびこ駅へのアクセスが良く、その利便性の高さから賃貸住宅が多い。
苅田南	1725	3861	44.7%【8位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家35%、一人世帯50%、集合住宅69% Osaka Metroあびこ駅に近い北部地区は集合住宅が多く、南部地区は戸建て住宅が多い。
苅田北	1513	4461	33.9%【10位】	<ul style="list-style-type: none"> 持家24%【11位】、一人世帯46%、集合住宅84%【1位】 Osaka Metroあびこ駅へのアクセスが良く、その利便性の高さから賃貸住宅が多い。
区全体	39216	78098	50.2%	<ul style="list-style-type: none"> 東側の地域はOsaka Metro御堂筋線沿いで市内中心部へのアクセスが良く、単身者むけ集合住宅なども多く、加入率が低い。 西側の地域は上町台地の南端部に位置し、住吉大社があることや、旧街道が通る歴史ある街並みも多く、加入率が高い。

第2 住吉区の町会加入率の状況

3 住吉区の町会加入における課題

- 利便性の高い駅周辺は賃貸住宅が多く、比較的、短期の入居者が多いと見込まれ、その世帯数の多さからも加入率を大きく押し下げる要因となっている。
- 町会加入のメリットを感じられないという意見が多く聞かれる。
- 区民意識調査で、町会に加入していないと回答した人の、加入していない理由として、人間関係の煩わしさを感じている割合が最も多く、町会活動に対して後ろ向きな姿勢やイメージを持つ人が多い。
- 同調査では、仕事との両立の難しさを感じる割合も高く、現役世代には地域活動は負担であると感じられている。
- 同調査では、どのような活動をしているのか分からない、加入方法自体が分からないという割合も高く、町会活動が身近なものでなくなっていることや、アピールが不足していると考えられる。

第3 住吉区における基本的な方針と具体的な取組

1 基本的な考え方

- ・戦略における3つの柱に基づく具体的な取組のうち、全区で共通の取組の徹底することに加え、区・地域の特性に応じて重点的に取り組む内容を定め、町会と対話しながら、協働で加入促進に取り組めます。

戦略の3つの柱

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底

戦略② 「町会プロモーション」の徹底

戦略③ 「次世代型の町会」のモデル導入と展開の支援

第3 住吉区における基本的な方針と具体的な取組

2(1) 共通取組の徹底

・局等と連携し、以下の取組を徹底します。

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底

建設段階からの働きかけ

- ・新たに建築される集合住宅等情報を活用した建築事業者への強力な働きかけ（大規模建築物事前協議制度や建築物事前公開制度情報の活用）

既存集合住宅への働きかけ

- ・集合住宅向け町会加入促進パンフレット等、広報物の配布・提供
- ・宅建協会や地元不動産業者との連携
- ・市営住宅への加入勧奨

戦略② 「町会プロモーション」の徹底

「オール大阪」で取り組む広報

- ・区の広報紙を使った情報発信
- ・ICTを活用した情報配信
- ・大阪市地域振興会のホームページ等との連携
- ・町会加入促進チラシ・ポスターの充実
- ・イベント等での啓発グッズの配布や呼びかけ
- ・「転入者パック」への町会加入案内の封入
- ・児童向け啓発冊子の活用
- ・加入促進推奨事例の収集・共有

関係機関・企業との連携

- ・区社会福祉協議会との連携
- ・民間企業等との連携

戦略③ 「次世代型の町会」のモデル 導入と展開の支援

現在の町会の課題解決

- ・行政からの依頼事項の総点検
- ・効率的な町会運営事例の収集・共有

第3 住吉区における基本的な方針と具体的な取組

2(2) 住吉区において、共通取組のうち特に優先的に取り組む内容

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底

取組	新たに建築される集合住宅等情報を活用した建築事業者への強力な働きかけ			【令和8年度末実績】 ・ ・ ・
	内容	大規模集合住宅については、計画調整局から提供される情報を活用し建設段階から建築事業者に対して町会加入の働きかけを実施。中小規模の集合住宅・戸建て住宅については、地域活動協議会に情報提供を依頼。		
	工程	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 随時、大規模集合住宅の情報を当該町会へ共有し建築業者へ働きかけを行うとともに、中小規模の集合住宅・戸建て住宅の情報提供を地域活動協議会に依頼し働きかけを行う。 </div>			

第3 住吉区における基本的な方針と具体的な取組

3 区の特성에応じた重点的な取組

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底

集合住宅向けの防災意識向上研修等による加入勧奨

内容	マンション防災をテーマに、町会等との合同での防災意識向上研修等を実施し、その機会に、防災の必要性から町会加入を呼びかけます。			【令和8年度末実績】 ・ ・ ・
	区の特性・取組理由	<ul style="list-style-type: none"> 住吉区は、全世帯数の7割弱がマンション等の集合住宅に居住しています。 マンションの居住世帯は、プライバシーを重視する一方で、防災を課題と捉えている傾向があります。 関心の高い防災をテーマに、希望のあるマンションに町会等との合同での防災意識向上研修等を実施します。 研修等を通して、「つながり」への気づき、居住者間の交流拡大をめざし、防災の必要性から町会加入を呼びかけます。 		
工程	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	町会及びマンション管理組合や管理会社との調整・連携 町会未加入マンションを優先に町会等との合同での防災意識向上研修等を実施し、研修を通して地域活動への参画及び町会加入を呼びかけます。			

取組

第3 住吉区における基本的な方針と具体的な取組

3 区の特徴に応じた重点的な取組

戦略② 「町会プロモーション」の徹底

ICTを活用した情報発信及び町会加入促進チラシ・ポスターの充実

取組2	内容	区広報紙や区ホームページ、SNSや動画等を活用し、地域イベントの事前告知や開催状況及び町会に入るメリットや加入方法の周知を図る。 町会加入促進チラシ・ポスターの充実及び希望する町会へのチラシ等作成コンテンツ等を提供し支援する。			【令和8年度末実績】 ・ ・ ・
	区の特徴・取組理由	<ul style="list-style-type: none"> 住吉区では、30歳以下で「町会に加入していない」と回答した割合が70.8%と高い。(令和5年度第1回住吉区区民意識調査) 町会の存在や活動を知らない区民が若年層を中心に増加していることから、町会に関する情報発信の強化(町会プロモーション)を図り、町会加入促進につなげる。 			
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	工程	X、Instagramを活用し、地域イベントの事前告知や開催状況を周知し、区広報紙や区ホームページにて、地域の活動情報を発信 広報紙やチラシに二次元コードを掲載して町会加入のページへ誘導 町会等が編集可能なテンプレートとなるデータを提供			

第3 住吉区における基本的な方針と具体的な取組

3 区の特성에応じた重点的な取組

戦略③ 「次世代型の町会」のモデル導入と展開の支援			
町会活動まるとデジタル化支援			
取組3	内容	回覧板や災害時の情報共有等のデジタル化や災害時の安否確認等のコミュニケーション方法の充実につながる取組を通じて、効果や課題を明確化し、町会活動のデジタル化を支援します。	
	区の特性・取組理由	<ul style="list-style-type: none"> 区内には、町会運営の支援するアプリの導入に関心のある町会もあります。 アプリの導入といった町会活動のデジタル化は、町会運営の効率化や迅速化だけでなく、現役世代や若者など多様な世代とのコミュニケーション方法の充実や、積極的な参加を促すことが期待できます。 そういったデジタル化に意欲がある町会をモデルに、デジタル化のきっかけとなるよう実証的にアプリ導入支援を行います。 また、アプリの導入を通じて、効果や課題を明確化し共有することで、区内における自主的な町会活動のデジタル化の支援します。 	
		令和6年度	令和7年度
工程		デジタル化に意欲がある町会をモデルに、デジタル化のきっかけとなるよう実証的にアプリ導入支援（市民局事業への参加支援）	アプリの実証的な導入を通じて効果や課題を明確化し共有することで、区内における自主的な町会活動のデジタル化の支援
			令和8年度

【令和8年度末実績】
 ・
 ・
 ・